

お客様のカーライフに「満足」を超えた「感動」を

～ガソリンスタンドから出発、車販・車検・修理・損保・コーティングと幅広く展開～



東海エポック 株式会社

代表取締役社長

高橋 國浩氏

- 住 所：岐阜市島栄町1-30
- T E L：058-231-6228
- U R L：<http://www.tokai-epoch.co.jp/>
- 事業内容：石油製品全般の卸及び販売、車整備全般、車販売、カーリース、車検、钣金・塗装、洗車・コーティング、損保
- 従業員数：38人（正社員）、36人（アルバイト）
※2025年4月時点

■ 自動車に関わる各種サービスを展開

聞き手：まずは事業内容について教えてください。

高橋社長：もともと「東海石油」という社名で、その名の通り、昭和42年の創業時からモータリゼーションの波に乗って、ガソリンや産業用燃料を扱う会社として成長してきました。50周年を機に「東海エポック」と社名を変更し、業態も変化させてきました。ガソリンスタンドも続けていますが、車検工場、車の販売、損害保険の取扱いも行っていますし、最近はコーティングのお店も展開しています。石油部門とカーライフ部門、カービューティー部門という3つに分けられますね。

聞き手：車のことなら何でもお任せ、ということですね。

高橋社長：父が創業したのですが、当初はガソリンスタンドの軒数を増やすことばかり考えて営業していました。それが第1期ですね。2000年頃からはセルフスタンドが増え始め、当社も三重県や高速のSAにも進出し、多い時は全部で11店舗営業していました。

その辺りから、今度は燃料転換の波も押し寄せてきました。スタンド経営だけではダメだということで、業態変更を模索し、車検や钣金の工場を始めました。2010年頃までが大きな曲がり角の時期だったように思います。

■ 業態転換のイメージは「上流から下流へ」

聞き手：まさに転換期だったんですね。

高橋社長：車検工場をやって気付いたのは、お客様の購入行動に対して、逆流しているような状態だということです。ガソリンの購入額は数千円程度、そこに車検のご案内をするといきなり十万元以上の話になるわけで、そうなるとお客様の反応もあまり良いものにはなりません。

そうではなく、まずは車を購入していただいて、車検や修理、保険についてご案内をする、事故があれば钣金工場での対応もできる、もちろん燃料はスタンドで入れていただく。そういう業態になれば一番スムーズだと考えて、第3期として、車の販売を始めることになりました。不採算店の閉鎖も行い、ガソリンスタンドは現在5店舗となっています。

聞き手：私自身もガソリンは使いますが、確かにハイブリッドや低燃費といった言葉もあふれ、厳しい状況ではありますね。

高橋社長：当社も以前はガソリンを売ることが中心でしたが、それを追い求めるだけでは社員の幸せにもつながらないという想いがありました。今はお客様が真ん中にいて、そのカーライフにおいて必要なものをその時々でご提供する、そして一生懸命お任せいただけるという商売に変わってきています。最近はお子さんやお孫さんに車を買ってあげたいと話してくださる方もあり、一人ひとりと深いお取引ができるようになってきました。

聞き手：ウェブサイトには、energy（元気）、power（活力）、challenge（挑戦）を大事にしたいという想いから、それぞれの頭文字を取って命名された「エポック（epoch）」という社名の意味であったりや、4つのミッションとして、「私達は、『感謝』、『謙虚』、『向上心』を持って①お客様に感動をもたらすこと ②スタッフの自己実現、働きがい ③協力会社とのWIN-WINの関係 ④地域社会への貢献」を追求していきます」とありますが、ぜひ



【写真左】
毎年開かれている社員総会の様子です。開催時はゲームなども行い、盛り上がります。



【写真右】
当社社員の平均年齢は32歳と若い社員が多いのが特徴です。

詳しく教えてください。

高橋社長：基本的に「人対人」の商売で、4つの方向、つまりお客様と仕入れ業者さん、スタッフ同士、そして地域社会に向けて決めたものなんです。お客様に対しては「満足」していただくのは当たり前、その上の「感動」を目指そうということです。

実際にあった話としては、車検を受けに来たご夫婦が「今日は結婚記念日なんです」と話されるのを聞いて、1時間後の作業終了時、急いで買ってきた小さな鉢植えとともに、スタッフ皆で「おめでとうございます」とお祝いしたことがありました。お客様と会話しなければいけないことで、何より会話は大切にしていきたいですね。

聞き手：社員の方の育成についてはいかがでしょうか。

高橋社長：毎年4月に平均年齢を出しているのですが、現在32歳と、非常に若い会社です。そこで、個人面談は半期に1回、全員と行っています。

また、今年の4月に就業規則を改訂しました。昔よりも時代に合わせて柔軟になっているのですが、それでも従業員に対しては厳しい内容も含まれています。とはいえ仕事上のルールですので、「読んでおくように」ではなく、ダイジェストを作って説明をしているところです。

聞き手：ちなみに個人面談はどれくらいの時間ですか？

高橋社長：1人1時間くらいですね。15分程度では「がんばろう」で終わってしまうので、時間をかけて会社がどんな部分に期待をしているのかを伝え、その反応を聞いたりしています。

最近は人間性が大事なんだということにも気付きましたので、人間教育にも力を入れたいと思っています。社外の研修や見学も増やしていきたいですね。

ちなみに社員の誕生日には私が“一筆啓上”することを10年ほど続けているのですが、毎年コレクションしてくれている社員もいて、違う言葉を考えるのが本当に大変になってきました。

開については、いかがでしょうか。

高橋社長：今後は修理工場やコーティングのお店を増やしていきたいですね。休止している钣金工場も復活させたいです。ガソリンスタンドについては、M&Aも視野に入れ、私たちのお客様にとって利便性の高い場所への出店を考えていきたいですね。

聞き手：岐阜県以外への進出もあるのでしょうか。

高橋社長：拠点が離れると社員のキャリア構築に影響が出ることもありますので、あくまで岐阜県内で考えています。また、コーティングの技術を活かして家庭内でお役に立てる場面がないか等、もっと模索していきたいところですね。

さらに、2年後には60周年を迎えます。長く続いていることには感慨深いものがありますね。何をすると良いか、来年あたりから計画したいなと思っています。

聞き手：最後になりましたが、休日の過ごし方やご趣味についてもお聞かせください。

高橋社長：趣味は旅行とゴルフですね。海外はなかなか行けませんが、国内旅行は年1回必ず2～3泊で出かけています。車で軽井沢等に行き、“一人ゴルフ”をしたりするのですが、全く知らない方とコースを回るので、毎回新鮮ですよ。

それから、節目の年齢で新しいことにチャレンジしようと決めていて、30歳で船舶の免許、40歳でスキューバダイビングを始めました。60歳の時には楽器を始めました。娘の結婚式でサプライズをするべく、ウクレレを1年間習って披露したところ、娘は泣いてくれるどころか大爆笑。そこは…がっかりでしたけれども。

聞き手：爆笑ですか！ですが思い切って始めるという行動力が素晴らしいですね。

本日は貴重なお話をありがとうございました。

聞き手 (一社)岐阜県経営者協会 広報部会委員

日本印刷(株)

代表取締役社長 **若山 雅彦**

■ 60周年を迎えるにあたって

聞き手：それは素敵な取り組みですね。では、今後の展

経協ニュース

高校求人専門委員会を開催

4月16日(水)グランヴェール岐山にて開催し、芦田委員長(株トーカイ 人事本部人財開発部課長)ほか6人の委員にご参加いただきました。

事務局より2024年度の活動実績を報告した後、2025年度の活動計画(案)についてご審議いただきました。

委員の皆様からは、年々困難になる高卒採用に關しての事務局への要望、また6月に開催する「第57回 高校求人懇談会」開催における課題や、円滑に進行していくための運営方法についてご意見をいただきました。



中部大学共催「学内合同企業セミナー」を開催

4月25日(金)中部大学と共催で、全学年を対象とした「学内合同企業セミナー」を開催し、企業14社、学生47名にご参加いただきました。

学生が自由に訪問する形式で、授業の合間や昼休みの時間に合わせて来場いただきました。企業ブースでは熱心にメモを取る姿が見られ、企業研究に対する意欲の高さを感じました。



岐阜県企業探検会を開催

5月10日(土)じゅうろくプラザにて開催し、企業30社、学生約70名にご参加いただきました。

昨年に続き、今回で2回目の開催となる本件は、就活の早期化への対応、早い時期から企業と学生の交流を図ることを狙いとしております。

参加企業の各ブースにて、事業概要や夏季インターンシップ等の説明をしていただきました。



第59回岐阜県監督士養成講座・初級管理者養成講座を開催

5月15日(木)長良川スポーツプラザにて、「第59回岐阜県監督士養成講座」「初級管理者養成講座」がスタートしました。本講座は、「人格と技術とともに兼ね備えた人材育成」をモットーとし、ケーススタディやワークショップなどを取り入れた約2か月(全8講)のカリキュラム【初級管理者養成講座は約1か月(全4講)】で、管理監督者とその候補者が、異業種の交流を図りながら学ぶ研修です。

開講式では、監督士認定委員を代表して当協会 専務理事 安藤 正弘、講師を代表して堤 卓雄氏から58名の受講者に向けて、職場のリーダーとしてのスキルや心構えを十分学んでいただくようご挨拶をいただきとともに、受講者代表より本講座に臨む意気込みを宣誓していただきました。

また、渋谷 佑三子氏(人財育成研修講師)により「アンコンシャスバイアス&ダイバーシティーインクルージョン」と題し、特別講演をしていただきました。無意識の中にある偏見を理解することが多様性を尊重し、活かし合う状態につながるの貴重なお話をいただき、今後の講座につながるスタートとなりました。

第1講 「管理監督者の役割」

講師:堤 卓雄氏

本講座全体の導入の意味も込めて、管理監督者に求められる、職場をまとめ部下後輩を育成していく基本的な役割や、管理監督者を取り巻く環境、立場、心構えなどについて、グループ討議を交えて受講者同士で意見交換しながら概要を掴んでいただきました。



開講式の様子



特別講演



第1講

接遇者セミナーを開催

西濃支部

4月15日(火)OKB総研にて開催し、講師に研修インストラクターの志水 美和子氏をお招きし12社15名の企業にご参加いただきました。

経験豊富な講師から直にアドバイスを頂けたことで、接遇対応や社会人としてのマナー、コミュニケーションの大切さを再認識する良い機会になったと思います。



管理・監督者養成講座 実行委員会を開催 **飛驒支部**

4月23日(水)高山商工会議所にて開催し、飛驒支部 管理・監督者養成講座 実行委員9名にご参加いただきました。2025年度 第1回目となる本委員会では、昨年度の振り返りや反省点に重点を置き、更に充実した講座にできるよう開催日時、会場等について議論しました。また、今年度から新しく2名の方を実行委員にお迎えいたしましたので、新しい意見をいただきながら、秋の講座開講に向けて引き続き実行委員会を重ねてまいります。

役員会を開催 **東濃支部**

4月25日(金)多治見商工会議所にて開催し、支部総会(5月27日開催)に提出される議案「令和6年度事業報告・収支決算、令和7年度事業計画(案)・収支予算(案)」について、役員の皆様にご承認をいただきました。今後計画する人事・労務セミナーについては、事務局会議にて検討してまいります。



高校生の求人に関する周知依頼

5月14日(水)岐阜労働局、岐阜県、岐阜県教育委員会の担当者が来局し、高校生の求人に関する周知依頼がありました。

■ 高校生の求人における手続きや応募のスケジュール

時 期	内 容
6月2日～	事業所⇒ハローワーク (求人の受付開始 安定所において求人の内容確認)
7月1日～	事業所⇒高等学校 (事業所が学校に求人票を送付)
9月5日～	高等学校⇒事業所 (学校推薦開始)



岐阜県教育委員会、岐阜県、岐阜労働局より

新規会員 の ご紹介

中濃支部

■ 株式会社 宏栄精機工業

設 立 1978年4月25日

所 在 地 加茂郡八百津町野上1542-16

代 表 者 代表取締役 岩井 耀一

事業内容 特殊冷間圧造精密部品の製造・販売



人と経営 6月号

(第74巻6号通巻573号) (2025年6月1日発行)

■ 編集発行人

広報部会長 堀 部 友 里

■ 発行所

一般社団法人 岐阜県経営者協会

〒500-8833 岐阜市神田町2-2 TEL 058-266-1151 URL <https://gifukeikyo.org/>

■ 印刷・製本

株式会社印刷工房 〒501-0597 岐阜県揖斐郡大野町下磯750-1 TEL 0585-36-0201